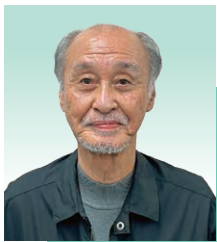


## 記念誌によせて



東成区100周年記念事業  
実行委員会 委員長

羽鹿 誠一

令和7年4月、東成区が誕生して100年を迎えました。100年にわたり、東成区は多くの歴史と文化を積み重ね、先人の努力により豊かなまちを築いてきました。

令和5年11月に発足しました「東成区100周年記念事業実行委員会」は、区内各種団体、企業、事業所、学校、行政機関などで構成され、実行委員会では、東成区のこれまでの歩みを振り返り、未来へ飛躍させることを目的に、「ひがしなり100年の歩みと羽ばたく未来」をスローガンに掲げ、この1年間、記念式典や区民まつり、カルタ大会や合同演奏会など様々な記念事業を実施してまいりました。

記念事業には多くの方々に参加・協力していただき、また実行委員会に参画している団体や企業の多くの皆様がその企画・運営を担っていただいたことで、記念事業が世代を超えた交流の場となり、地域と人、人と人とのつながりをあらためて感じるきっかけとなったのではないのでしょうか。

本記念誌の発行はもとより、記念事業は多くの皆様からのご寄付により実施してまいりました。ご支援・ご協力を賜りました方々に心より御礼申し上げます。東成区のさらなる発展と皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



大阪市東成区長

はる き たかのぶ  
春木 卓伸

### ～100年の節目に結ばれたご縁に感謝して～

令和7年4月1日、東成区は100周年という大きな節目を迎えました。そして私自身、民間から公募で東成区長として就任し、この記念すべき年を皆さんと共に歩めたことを、深いご縁として心から嬉しく、また光栄に感じています。

この一年、実行委員会の皆様を中心に、区内のあちこちで記念事業が展開され、東成区全体が一体となって盛り上がる光景を目の当たりにしてきました。そこにあったのは、東成が長い年月をかけて育んできた「人と人とのつながり」の力そのものだったと感じています。さらに大阪・関西万博では、そのつながりを原動力に、東成の魅力の世界へ発信できたことも、大きな誇りです。

羽鹿実行委員長をはじめ、実行委員会の皆様、ご参加いただいた区民の皆様、そして支えてくださったすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

この100周年を通じて、東成のいちばんの財産は「つながり」だと改めて実感しました。これまで紡がれてきたつながり、そして新たに生まれたつながりを、次の100年へとしっかり手渡していく。その想いを胸に、これからも皆さんと一緒に、東成の未来をつくっていきたいと思います。

## 記念誌発行にあたって

本記念誌は、1300年の歴史を有する『ひがしなり』を区名に持つ東成区が、これまでの100年にわたる歩みと変遷、そして地域の発展や人々の暮らしの様子を、貴重な記録とともに振り返るとともに、未来への希望と誇りを抱いて次の世代へと継承することを目的として発行いたしました。

本誌を通じて、東成区の歴史や文化、地域の絆、人と人とのつながりの強さなど多くの魅力を再認識していただくとともに、東成区の今後の更なる発展への一助となれば幸いです。

東成区100周年記念事業実行委員会 広報部会長 西村 良之介